「論理国語」シラバス

学科	普通科	学年	3年	類型		組	1～4組	単位数	2
使用教科書	探求　論理国語（桐原書店）								
副教材等	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）								

1　学習の到達目標

①　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
②　論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
③　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を５段階の評定に総括する。

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けているか。	⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。	⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿
主体的に 学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。	⑴⑵⑶⑷⑸

評価方法	主な評価項目
学習状況の観察	⑴グループワーク等での対話への取組　⑵発問に対する応答
言語活動の観察	⑶言語活動への参加状況　⑷学びの関連付け、活用への取組
課題などの提出状況	⑸リフレクションシートの内容　⑹長期休業中の課題　⑺日々の課題
発表・報告	⑻分析・考察の記述　⑼プレゼンテーション
ペーパーテスト	⑽定期テスト　⑾校内模試　⑿小テスト

3　学習の計画

学期	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い	評価項目
一学期	オマージュとイマージュ	・評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	⑺
	人間の領域	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、進歩する技術とともに人間のありようについての自らの考えをまとめる。	⑻
	市民社会化する家族	・筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。また、他者との関わり合い方を考える。	⑼
	身体と出現	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、評論を読み解く視点を広げる。	⑼
	言葉の〈意味〉と〈表徴〉	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、人間の言葉の可能性について、幅広い視野から考えを深める。	⑻
二学期	霧の風景	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、異文化理解と自然との共生の困難さについて考える。	⑺
	「貫之は下手な歌詠み」か？	・「書く」ことと「読む」ことの往復運動の中で新たな問いが生まれ、世界の見え方が変わるという筆者の主張を踏まえ、「書く」ことについての基本的な姿勢について考える。	⑺
	沙魚	・評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	⑼
	ファンタジー・ワールドの誕生	・実用的な文章の読み方解き方を習得し、実社会で役立つ文章作成力を養成するとともに、実社会との関わりについて実感をもって捉える。	⑻
	ポストモダンと排除社会	・論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。また、「共感」「ともに生きる」という観点から人間の存在についての思索を深める。	⑻
三学期	日本文化私観	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、文化を読み解く視点を広げる。	⑺
	地図の想像力	・自他・文学・人間について述べた文章を読んで、「地図」をキーワードにして世界を捉え直す。	⑺
	真理の探究と民主主義	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉える。また、人類学・社会科学の知見を基に、共同体についての考えや、「民主主義」「自由」「近代化」などの普遍的な主題への理解を深め、日本の近代化の問題点を現代の課題として捉え直す。	⑼

備考　⑴⑵⑶⑷⑸⑽⑾⑿については、全ての単元において評価項目として用いる。